



文化財保護センターだより

財団法人 岐阜県文化財保護センター

<http://www.maibun.gifu-net.jp>

三田洞本部・整理所

〒502-0003 岐阜県岐阜市三田洞東1-26-1
Tel.058-237-8550(代) Fax.058-237-8551
e-mail.maibun@smile.pref.gifu.jp

飛騨出張所

〒509-4122 岐阜県吉城郡国府町名張字峠1425-1
Tel.0577-72-4784 Fax.0577-72-4690
e-mail.hida@smile.pref.gifu.jp

平成13年
11月1日

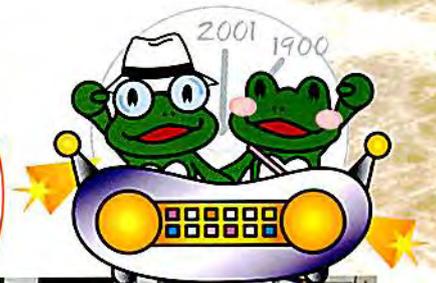
第32号

もくじ

表紙	飛騨と美濃で発掘にチャレンジ	1	報告	岐阜県新発見考古速報レポート	6
行事	タイムスリップ探検隊飛騨・美濃	2・3	センターだより	センター日誌・あしがき・お知らせ	7
調査	発掘最前線(飛騨)保別戸古墳群・ウバガ平遺跡・上岩野遺跡	4・5	センターニュース	発掘速報展—いにしへの美濃と飛騨—開催	8

タイムスリップ探検隊

飛騨と美濃で、
発掘に
チャレンジ!



飛騨探検隊のみなさん



(財)岐阜県文化財保護センターが、教育普及活動の一環として行っている「タイムスリップ探検隊」も10回目を迎えました。

今年も、飛騨・美濃の2遺跡で行いました。飛騨は清見村の上岩野遺跡、美濃は関市の重竹遺跡です。美濃では、岐阜県博物館や伊自良青少年の家などを利用して、1泊2日で実施しました。



美濃で飛騨で
タイムスリップ
探検隊

行事 土器をみつけて歓声が！

密着取材 探検活動めじろおし！

「美濃」では、関市の^{しげたけ}重竹遺跡と、岐阜県博物館、伊自良青少年の家を利用して8月2日・3日の1泊2日で行いました。また「飛騨」では、清見村の^{かみいわの}上岩野遺跡と清見村公民館で8月8日に行いました。発掘、土器の洗いや拓本、展示見学など、大昔の世界にタイムスリップした2日間でした。



<岐阜県博物館にて>

どんな活動が始まるのかな。

じょうずに拓本とれるかな。

結団式

体験盛りだくさんの日程

第 一 日 目 (8/2木)	10:00	結団式
	11:00	岐阜県博物館の見学
	~12:00	
	13:00	拓本作業
	~14:30	(伊自良青少年の家へ移動)
	16:00	入所式
	19:00	夜の活動
	~20:00	~考古学オリエンテーリング
第 二 日 目 (8/3金)	9:30	(重竹遺跡へ移動) 発掘体験
	~12:00	①オリエンテーション ②発掘体験Ⅰ ③休憩 ④発掘体験Ⅱ ⑤記念写真
	14:10	
	~14:30	解団式



拓本作業

<伊自良青少年の家にて>

土器に文字が書いてあるね。

一番楽しかったのは、土器などの発くつでした。最初は、いっしょにやってくれたおじいさんは土器のはへんが出てきたのに、ほくの方は出てこないの、ないのかなと思っていました。見のがして、ちゃんとありました。休けいになって、次は、一人でやっていました。まわりが黄色っぽくて中が黒い土が出てきたので聞いてみたら、「半分を残して半分をほって。」と言われたので、いっしょにやったら、柱のあなみたいになりました。中から、はへんが出てきました。すごかったのは、そこからすみが出てきたことでした。
金竜小 6年生



考古学オリエンテーリング

<重竹遺跡にて>



遺跡説明

この石組みはなんだろう。

どんな土器が出てくるのかな。

オリエンテーリングの中で、縄や竹などで文様づけをさせて頂きました。縄文人に思いをはせながら楽しかったです。

関に住みながら重竹遺跡を知りませんでした。この二日間で発掘の苦勞と同時に、何百年、何千年の月日がへだたった方の生活を想像していく楽しさにワクワクしました。

二日間、有難うございました。

関市 保護者の方



発掘体験



美濃探検隊のみなさん



今日、遺跡発掘体験をして、はじめは、「そんなかんたんに土器が出てくるのかな。」とか、「見つかるかな。」とか、ちょっと不安だったけど、じっさいやってみると、土器のカケラが出てきて、変なものがついた物や、すごくぶあつい物など、いろいろ出てきました。土器は、とってむずれやすいので、おそろおそろ取り出しました。足がずっと同じたいせいでだったので、つかれましたが、とっても楽しかったです。

午後からは、お昼ご飯を食べて、それから、発掘した遺物を、ブラシでいねいに洗いました。石は、強くこすっても大丈夫だけど、土器のカケラは、こすりすぎると、とけてしまうので、ブラシでたたいてどろを落としました。洗ってみると、カケラと思っていたものも、石とかどろだったので、ちょっとガッカリしたりもしました。その後、拓本をとりました。私は、中級と上級と初級に挑戦しました。どれもうまくできて、紙にはりました。

今日の体験は、とてもおもしろくて、楽しくて、発見がたくさんありました。また機会があれば、参加したいな。と思いました。

山王小 6年生

思ったよりきれいに縄文がでてきました。



拓本作業

<清見村公民館にて>



解団式

1日がんばって修了証がもらえました。

<上岩野遺跡にて>

発掘体験がたのしみだなあ!!



遺跡説明

土器が大量に出土!



発掘体験

大きな土器がいっぱい出てきたよ。

洗うと、縄文や、うず巻き文様がとてもきれいです。

洗い作業

掘り始めから「やじり」を掘ってみたいと思っていましたが、なかなか出てきませんでした。終わり頃にひょこっと出てきて、とても感動しました。

4,000年の時を経て、私たちの目の前に現れ出てきた、この「やじり」を手にした時は、4,000年前の祖先とつながっているんだなあと感じました。

高山市 保護者の方

発掘調査については、新聞やテレビで知るので、近づいたことも参加したこともありませんでした。地道な根気のいる作業だとは思っていましたが、暑い中を地面に膝をついてそこにあるかわからない土器の破片などを探していく・・・。本当に大変なことだと改めて感じました。しかし、かけらでも見つけることができた時は、とてもうれしく、またそのかけらに価値を見いだしていただけると思うと励みになりました。とても充実した時間を過ごすことができました。

高山市 保護者の方

保別戸古墳群 (吉城郡国府町)

保別戸古墳群は、高山市との境をなす見量山(997m)北側の尾根先端部にあります。発掘調査は今年の5月から9月まで行われました。

1号古墳全景



土師器高坏
出土状況

■古墳時代初期の方墳を2基確認

今回の発掘調査で、飛騨では最も古い時代の古墳を発見しました。造られた時期は古墳時代初期(3世紀後半～4世紀初め)と推定されます。1号古墳の溝から出土した土師器の高坏は、器形及び技法から3～4世紀のものと考えられます。これが時期の決め手となっています。

形は方墳で、尾根を切断するようにまっすぐに溝を切ること古墳の内と外を区画し、上から見た形が四角形となります。また、墳丘が低く小規模であることから、弥生時代の墓の形を受け継いでいると言えそうです。痩せた尾根上にまっすぐな溝を切り連続して造られる、北陸地方に多い方形台状墓の影響を受けているとも考えられます。

■木棺と思われる痕跡を確認

1号古墳の墳頂部ほぼ中央に、南北に長い長方形(長辺…約2.5m、短辺…約1.5m)の墓穴を検出しました。埋葬方法は、石室を築いた跡がないことから、木棺直葬であったと考えられます。木棺はすでに腐ってなくなりましたが、土の色の違いなどから木棺の跡を確認することができました。木棺の内や外から副葬品は見つかりませんでした。

今回の発見は、飛騨の古墳の始まりを考える上で、重要です。



保別戸古墳群現地説明会(9月22日)

ウバガ平遺跡 (高山市)

ウバガ平遺跡は、高山市上切町の山のふもとのなだらかな場所にあります。これまでに古墳時代の竪穴住居跡を4軒発見しました。住居跡からは、管玉など注目される遺物が出土しています。

■住居跡から管玉が出土

4軒のうち最も大型の1号住居跡では、管玉が2点出土しました。管玉とは円筒形の管状の玉で、多数連ねて首飾りとしたものです。1点は長さ2.8cm、直径0.6cm、もう1点は長さ2.1cm、直径0.4cmの大きさです。住居跡の床面付近において出土したことから、住居に住んでいた人物の所持品であったか、住居を廃棄する際の祭りでも使われたと考えられます。いずれにせよ、このような装身具は、当時、富と権威の象徴とされていましたので、この住居には集落の中心となるような人物が居住していたと考えられます。



管玉の出土状況

飛驒の歴史を
ぬりカエル



当センターでは、本年度地元関係諸機関や多数の方々のご協力をいただき、県内10市町村13遺跡で発掘調査を実施しています。このうち今回は、飛驒地区3遺跡の概要についてお知らせします。



ウバガ平遺跡現地説明会(9月22日)

■古墳時代の集落跡を確認

4軒の竪穴住居跡のうち良好な状態で残っていた3軒については、食事の煮炊きを行った竈の跡を確認することができました。竈とその周辺からは、多くの土器が出土しました。それらの形や技法などから、この地に人々が集落を営んでいたのは、5～7世紀頃であることがわかりました。遺跡はさらに、東方に広がることを確認されていますので、今回の調査では、集落跡の西端部を確認したこととなります。

飛驒地方では縄文時代に関する発掘調査例は豊富ですが、弥生時代以降の遺跡については、あまり調査されていません。今回の発見は、まだ不明な点が多い古墳時代の飛驒の人々の暮らしを明らかにする上で、貴重な資料になるといえます。



4号住居跡の調査

かみいわたの 上岩野遺跡 (おおの せきのみ 大野郡清見村)

上岩野遺跡は、清見村牧ヶ洞地内の日当たり良好な高台の一角にあります。遺跡のちょうど南側下方には、牧谷川を挟んで国道158号線の道の駅「ななもり」があります。発掘調査は、今年の5月に始まり、11月下旬まで続く予定です。

■縄文の大遺跡

古くから縄文時代の遺跡として著名で、すでに昭和6年に遺跡南東端の黒土の畑より、縄文時代中期の土偶片1点が、発見されています。今回の調査でも、これまでに30点余りの土偶片が出土しています。

調査は継続中ですが、これまでに50軒余りの縄文時代中期～後期前半(約5,000～3,500年前)の竪穴住居跡を確認しました。飛驒地方で発掘調査された遺跡の中では、垣内遺跡(高山市)、中野山越遺跡(古川町)、岩垣内遺跡(丹生川村)などと並ぶ、縄文時代中・後期の大きな集落跡といえそうです。



発掘作業の様子

■集落の様子を探る

遺跡の北側の斜面が繰り返し利用され、その深さが1m以上の深い竪穴住居跡もあります。そして、比較的大型の炉石や柱穴を持つ住居が目立つことや、住居内からの磨製石斧や石皿の出土が多いことなどが特徴的です。また、調査区の西側には、縄文時代後期の土坑群や列石群が存在します。

この上岩野遺跡の調査は、縄文時代の集落のあり方や、当時の人々の生活や交流の様子などを探る上で重要と考えられます。

お出かけください

現地説明会のご案内

- 11月 10日(土)13:30～ 上岩野遺跡 大野郡清見村牧ヶ洞地内
- 12月 2日(土)13:30～ 丸石古窯跡群 土岐市泉町久尻丸石地内
- 12月 22日(土)13:30～ 柿田遺跡 可児市柿田地内

岐阜県新発見考古速報 2001

160名の参加者で盛大に開催！

— 平成13年度岐阜県発掘調査報告会 —

県内では、平成12年度21市町村43遺跡で発掘調査が行われ、数々の成果が報告されています。今回その調査結果を交流する「岐阜県新発見考古速報2001」が、7月14日土岐市のセラトピア土岐において行われました。報告や講演はスライドを使いわかりやすく発表や解説がされました。大変暑い日にもかかわらず、160名を超える参加者は熱心に耳を傾けていました。当日の様子を報告します。



報告会会場の様子



展示遺物を見学する参加者

講演

岐阜県の中世城館

国立歴史民俗博物館 千田 嘉博 助教授

昨年に引き続き、講演をお願いしました。

室町時代の戦国時代の戦う山城、信長・秀吉時代以降の城と分け、全国的な代表



講演される千田先生

例との対比から、岐阜県の中世城館の姿、特色を話していただきました。また、研究の成果を地域の特色づくりの核にし、個性的な町づくりに活かしていくことが大切であることを、全国の先進的に整備された城館跡の紹介を通して教えていただきました。発掘調査をもとに、地域の人々と共に歴史を考えていく姿勢、地域の歴史の重要性を学びました。

上ヶ平遺跡(下呂町)

(財)岐阜県文化財保護センター 八賀 哲夫 氏

平成9、10、12年と調査を行いました。

温泉街を見下ろす高台にあります。縄文時代早期と古代の住居跡55軒が見つかり、南飛騨最大の集落遺跡となっています。

下呂石を加工しやすい大きさに割って貯蔵した穴



発掘調査の様子

ここからは、膨大な量の下呂石の破片も見つかりました。この石が採れる場所「湯ヶ峰」に近いことから、原石を加工して運び出すための、加工の場所であった可能性が考えられます。

尾崎遺跡(美濃加茂市)

美濃加茂市教育委員会 藤村 俊 氏

平成4～12年まで調査を行いました。

市中央部に広がる、木曽川河岸段丘上の南に張り出した丘にあります。丘全体に、弥生時代後期～古代にかけての100軒を超える竪穴住居跡や、掘立柱建物跡が見つかりました。

当地に美濃加茂市民ミュージアムが開館されることになり、良好に残る1基が屋外展示施設として整備され保存・公開されることになりました。



発掘体験の様子



屋外展示施設の外観

妻木城跡(土岐市)

(財)土岐市埋蔵文化財センター 中島 茂 氏

平成9年から4年計画で調査を行いました。

妻木町を一望する城山の山頂にあります。曲輪、土塁、堀切などが配置された山城です。ふもとは、家臣団の屋敷であった区画が広がっています。

近世初頭(16世紀後半～17世紀前半)の城郭遺構が、城主や家臣団の屋敷、城下町を含めて残されている例はまれで、ともに岐阜県の史跡に指定されています。



城跡(虎口)、門跡の礎石及び石積の様子



土屋敷跡、井戸跡の様子

注1) 平成4年のみ(財)岐阜県文化財保護センターが調査を行った。

注2) 曲輪：人工的につくられた平坦地

注3) 土塁：敵から城を守るためにつくられた盛り土

注4) 堀切：敵の進入を防ぐため尾根道を横に深く切った堀

センター日誌

6月 20 野尻湖ナウマン象博物館 中村由克氏他1名 飛驒出張所来所

- 7月 4 清見村立清見小学校・大原小学校6年生 上岩野遺跡 発掘体験 (23名)
 10 千葉県立安房博物館 森尚登氏 整理所来所
 11 土岐市立土岐津小学校6年生 丸石古窯跡群 整理所体験 (112名)
 13 各務原市立中央中学校生徒 三田洞整理所作業体験 (15名)
 14 岐阜県発掘調査報告会「岐阜県新発見考古速報2001」
 (土岐市 セラトピア土岐 160名)
 15 国府町商工会(マイタウンアドベンチャーツアー)飛驒出張所見学 (33名)
 18 国府町立国府中学校3年生 保別戸古墳群見学 (30名)
 25 東濃地区小学校社会科推進連絡協議会 丸石古窯跡群見学 (30名)
 帝京大学山梨文化財研究所室長 畑大介氏 柿田遺跡指導
 26 同志社大学歴史資料館 鋤柄俊夫氏 柿田遺跡指導
 30 国際日本文化研究センター教授 宇野隆夫氏 重竹遺跡他指導
 三重大学名誉教授 八賀晋氏 保別戸古墳群他指導



発掘体験をする土岐津小6年生



窯跡を見学する東濃小社研のみなさん

- 8月 2 タイムスリップ探検隊・美濃
 (重竹遺跡、岐阜県博物館、伊自良青少年の家 5組14名)
 (~3日)
 3 羽島高等学校 佐野氏 上ヶ平遺跡指導
 4 藤田坂遺跡現地公開 (60名)
 7 吉城郡中学校社会科部会 保別戸古墳群見学 (21名)
 美濃市立中有知小学校教員 重竹遺跡見学 (3名)
 岐阜市立岩野田中学校、青山中学校、三輪中学校、穂積町立穂積中学校1年生 整理所体験 (15名)
 8 タイムスリップ探検隊・飛驒(上岩野遺跡 24組60名)
 美濃市立美濃中学校2年 重竹遺跡 職場体験 (1名)
 国立歴史民俗博物館助教授 小島道裕氏 飛驒出張所来所
 22 岐阜市立青山中学校、関ヶ原町立今須中学校2年 整理所体験 (10名)
 29 帝京大学山梨文化財研究所室長 畑大介氏 柿田遺跡指導
 31 藤田坂遺跡発掘調査終了



古墳を見学する吉城郡中社研のみなさん



整理所体験で土器の接合に悪戦苦闘する中学生

- 9月 4 国際日本文化研究センター教授 宇野隆夫氏 上恵土城跡他指導
 22 現地説明会(ウバガ平遺跡 54名、保別戸古墳群 80名)
 28 保別戸古墳群発掘調査終了

編集後記

夜遅く帰路に就こうとすると、まだ整理所で仕事をしている職員がいます。部屋を覗くと縄文土器片を片手にパソコンに向かっています。文様をどのように付けたか再検討中でした。土器の文様に何度も目を凝らしながら、「こうではないか」「ああではないか」と話していると、あっという間に時間が過ぎます。

あらためて考えてみると、黙して語らぬ遺構や遺物の謎解きはいへんです。発掘から整理・報告書作成にいたる作業が、多くの人々の力や支えによって成り立っています。

その成果のほんの一部ですが、ご紹介できるのが「発掘速報展」です。県内各地の遺跡から「陽の目を見た」出土品があなたを待っています。物静かな遺物たちですが、それを作り、使った「いにしえ」の人たちとその時代に思いをはせ、皆さんが語りかけていただける機会になればと考えています。岐阜県博物館にてお待ちしております。

お知らせ

岐阜県博物館

センター展示コーナー

も新しくなりました。

本年度から岐阜県博物館の人文展示室前に特設された展示コーナーも、展示遺物を入れ替えました。関市下有知の砂行遺跡(平成8・9年度調査)と南青柳遺跡(平成10年度調査)から出土した土器を紹介しています。この2つの遺跡に共通するのは、弥生時代末から古墳時代初頭にかけて、山の急斜面に数多くの竪穴住居跡が見つかったことです。今回展示している出土品はそれらの住居で使われていた土器類です。煮炊きをするための甕、食べ物を盛り付ける高坏、器をのせる器台など、当時の人々の生活の様子を知ることができる貴重な資料です。

発掘速報展

いにしえの美濃と飛騨

平成13年11月17日(土)～12月16日(日)
場所：岐阜県博物館(百年公園内)



上ヶ平遺跡出土
「縄文土器」
(押型文土器)

平成11・12年度に発掘調査をした12の遺跡と出土遺物を紹介します。

今回紹介する遺跡は、縄文時代から近世に至るまで、バラエティーに富んでいます。なかには、益田郡下呂町の上ヶ平遺跡から出土した縄文時代早期の押型文尖底深鉢や、可児市の柿田遺跡で出土した「穢れ」を水に流す祭祀に用いられた「形代」とよばれる古代の木製祭祀具など、貴重な遺物も多数あります。

前山2号古墳出土
「勾玉」



柿田遺跡出土
「勾玉」

深橋前遺跡出土
「土師器」(高坏)



寿楽寺廃寺跡出土
「軒丸瓦」

記念講演会 ハイビジョンホール 13:30～

平成13年11月25日(日)

国際日本文化研究センター教授
宇野 隆夫 氏

演題「水と人の歴史
弥生時代～中世の水利をめぐって」



開館時間 9:30～16:30 (入館は16:00まで)
休館日 毎週月曜日(祝日の場合は、翌日)
入館料 一般 320円(260円) 大学生 110円(50円)
小・中・高校生は無料
()内は20名以上の団体料金

主催 (財)岐阜県文化財保護センター
共催 岐阜県教育委員会 岐阜県博物館

くわしくは、ホームページをご覧ください。

センターのホームページでは、発掘速報展や現在発掘調査を行っている遺跡の現地説明会などのイベント情報や、今までに調査を行った遺跡や出土遺物などを紹介しています。ぜひ、ご覧ください。また、ご意見・ご感想などもお待ちしております。

URL <http://www.maibun.gifu-net.jp>

e-mail 三田洞本部：整理所 maibun@smile.pref.gifu.jp

飛騨出張所 hida@smile.pref.gifu.jp

